

Kansai University Psychological Research

Masashi KUSHIZAKI The Relationship between Emotional Contagion and the Tendency to Accidentally Remember Someone.....	1
Naoki UENO Masashi KUSHIZAKI Development of Internal Adaptive Over-adaptation Scale	13
Jiaqi LI Masashi KUSHIZAKI Relationship between Sensory Processing Sensitivity and Leisure Activities in China	37
Rina KIKUCHI Shingo ABE Hitoshi FUKUI The effect of supportive humor, envy, and recognition of unjust status quo on Schadenfreude	45
Satoshi FUJIOKA Takafumi WAKITA An attempt to shorten the Social Desirability Scale using a voluntary panel Web survey data.....	53
Rikuko SEKIGUCHI The effect of individual differences of face recognition on the other race effect : Investigation by the video task	65
Takako MAESHIBU Sayaka SHIMIZU Hajime YAMAZAKI Shunichi FUKUHARA Takafumi WAKITA Analysis of the Burden of Bowel Preparation for Colonoscopy: —A Qualitative study using semi-structured interviews—	71
Summaries of Doctoral Dissertations and Master’s thesis	89
Erratum	147

関西大学心理学研究

第14号 2023年3月

串崎真志 誰かをふと思い出す傾向と情動伝染との関連.....	1
上野直輝・串崎真志 内的適応型過剰適応尺度の作成の試み.....	13
李 佳奇・串崎真志 中国における感覚処理感受性と余暇活動の関連.....	37
菊池里奈・阿部晋吾・福井 齊 支援的ユーモア志向がシャーデンフロイデに及ぼす影響 —— 妬みおよび不公正な現状の認識との関連も踏まえて ——	45
藤岡 慧・脇田貴文 公募型 Web 調査データを用いた社会的望ましさ尺度短縮化の試み	53
関口理久子 顔認識能力の個人差が他人種効果に及ぼす影響 —— 映像課題を用いた検討 ——	65
前洪貴子・清水さやか・山崎大・福原俊一・脇田貴文 大腸検査の前処置の負担感の分析 —— 半構造化面接を用いた質的研究 ——	71
博士論文・修士論文抄録集.....	89
エラータ.....	147

編集委員会

脇田貴文* 串崎真志 北村由美 中田行重 (*編集委員長)

編集規程

1. 本誌は、関西大学心理学研究科の機関誌として、年1回発行する。
2. 本誌の編集、掲載可否や掲載区分の決定は、関西大学心理学研究科内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として関西大学心理学研究科を構成する機関（文学部心理学専修、社会学部心理学専攻、心理学研究科）に所属する教員ならびに教員と連名の研究者の論文、および本研究科の修士論文と博士論文の抄録の掲載にあてる。ただし、本誌の編集委員会が認める場合はこの限りでない。
4. 論文の第一著者となれるのは、原則として前記の教員、大学院生、および研究生とする。ただし、本誌の編集委員会が認める場合はこの限りでない。
5. 論文は未公開のものに限る。ただし、学会や研究会等での発表（口頭、ポスター、講演等）は除く。
6. 本誌は、国内外の心理学関連学会の研究倫理および出版倫理を遵守した研究を掲載する。
7. 論文は、発行に支障のない範囲内であれば、字数は問わない。
8. 論文の構成および表記は、日本心理学会編「執筆・投稿の手びき2015改訂版」に準拠したものとする。この手引きで規定されていない事項、および未刊行物の引用については、Publication Manual of the American Psychological Association (6th Ed.)（日本語版は『APA 論文作成マニュアル第2版』）に準じる。ただし、投稿には指定のテンプレートを用い、執筆者の役割分担、他の業績との重複の有無、助成金・利益相反の有無などを明記する。
9. 論文の印刷に関し、特に費用を要するものは執筆者の負担とする。
10. 執筆者（第一著者）に対しては、抜刷20部を贈呈する。それ以上は執筆者の負担とする。
11. 本誌に掲載された論文の著作権は関西大学心理学研究科に帰属する。関西大学心理学研究科は電子掲載の権利を有する。ただし、内容についての責任は著者が負う。

(2017年6月21日改訂)